



南小学校校舎

Q

学校施設の保全と整備について

A

耐震化を中心に計画的に整備する

大野 洋子 議員

学校教育施設は災害時の地域の防災拠点として耐震化などが計画的に進められているが、子どもの日常生活に関わるものは部分的な応急措置にとどまり、空調の整備や教育備品の整備などの充実が求められている。

質問一 学校施設の保全計画は。

二 学校施設の整備計画は。

三 学校応援団とPTAの協力体制について。

答弁一（教育委員長） 本市の小

中学校の大半が昭和50年代に建てられ、老朽化する設備の機能回復や有効に活用するための保全対策を講ずる必要がある。耐震化を最優先課題とし、平成25年までに体育館の耐震補強を行い、同時に防水、外壁の補修等を行う。老朽化の根本的な解決に向け、財源を確

保しつつ、手法や手順を検討し、内部合意の上取り組んでいく。

二 空調未整備の小中学校の整備

に着手し、教材備品やコンピューター機器の整備などは、利用状況から緊急性等を判断し対応する。

三 PTAや学校応援団等の地域の方々の取り組みは、子どものより良い環境づくりにつながっており、さらに推進するよう働きかける。

◎その他の質問 5Rと環境衛生の推進について

Q

鶴ヶ島市の雇用政策について

A

ハローワーク等と連携し支援実施

高橋 剣二 議員

来春新卒者の就職内定率は過去2番目の低さであり、今後も経済状況は厳しいと思われる中、雇用のミスマッチがある。また、働くことの意義を小中学生のうちに学ぶことが必要であると思われる。

質問一 鶴ヶ島市の勤労者のうち、市外に勤めに出る割合について。

答弁一（市長） 平成17年の国勢調査によると、2万4751人で

二 鶴ヶ島市居住の高校生及び大

学生の近年の就職状況について。

三 市内の事業者の求人総数、市

内居住の新卒者の市内就職状況は。

四 市内中学生の社会体験チャレ

ンジ活動の内容と成果について。

答弁一（市長） 平成17年の国勢



ミニハローワーク（市役所2階）

70・1割である。

二 市に限定した高校生及び大学生の就職者の統計はない。市は、ハローワークや近隣市と共催で若者就職面接会や就職支援ミニセミナー等の就職支援を実施している。

三 市内事業者の求人総数及び市内在住の新卒者の就職の状況についての数字は把握していない。

四（教育委員長） 12年度から貴重な体験の場として実施し、昨年度の協力企業も107事業所と多岐にわたり、延べ599人の生徒が参加した。

◎その他の質問 鶴ヶ島市の防災政策について